

須留が峰



校訓 「自立 協同 創造」
校是 「生きるとは分かちあうこと」

養父市立養父中学校 学校だより
(令和7年9月12日) 第19号

学校教育目標「しなやかな強さをもち 協働的・創造的に活動できる生徒の育成」

全国学力・学習状況調査結果④

今号からは、教科の調査結果(国語・数学・理科)についてお知らせします。まずは、国語と数学についてです。



◆国語 全体平均正答率:全国・県数値なみ(±5.0ポイント以内)

【養父中学校の生徒の特徴と今後の展望等】※本校教員による分析・考察

- 「表現の効果について、根拠を明確にして考える」問題において成果
 - ・小説を題材とした単元において、問いかけや対比といった表現の手法をおさえた授業を行っていることが生かされていると考えられる。
- 「文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉える」問題において成果
 - ・文学的文章読解の際に、登場人物の行動を断片的に捉えるだけでなく、物語の展開における役割や作者の意図を推測して内容を読み取る学習を取り入れてきたことが生かされていると考えられる。
- 「資料をもとに条件に合わせて自分の考えを書く」問題において成果
 - ・書く内容が明確になるように、文章の構成や展開を考えて書くものである。日頃の授業から、根拠を書かせたり言わせたりしている成果ではないか。
- 全体的に無回答率が低い。記述式問題において、なんとか最後まで書こうという意欲が感じられる。
- △「自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する」問題において課題
 - ・この問題は、自分の考えをもつだけでなく複数の条件を満たしていなければ正答にならない。つまり、知識・技能を活用する実践的な力が問われている設問であるといえる。従って、一問一答式の読み取りだけでなく、根拠を明確にして自分の意見を述べる能力を育てる活動を意識した授業の工夫が必要であると考えられる。
- △「目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈する」問題において課題
 - ・本文と資料を見比べながら、必要となる情報を読み取る力が弱い。複数の資料を同時に読み取る能力を育てる活動を意識した授業の工夫が必要であると考えられる。

全国的に「書くこと」に課題があるものの、日頃の指導の成果が見られたのも事実。これからも、作文が苦手な生徒への手立てについてどのように取り組んでいくべきかを模索していきたい。1学期には、文章を推敲する力を養うために、百～二百字程度の文章を書く演習を行った。また、本校では、国語の授業の他に、朝活動の時間を活用して、新聞記事を読んで意見をまとめる「読考書」という活動を進めている。これらの取組も生かして、「書くこと」の力を高めていく指導を継続していきたい。

◆**数学** 全体平均正答率：全国・県数値を下回る。

【養父中学校の生徒の特徴と今後の展望等】※本校教員による考察・分析

○「外角の大きさを求める」問題において成果

○「事象に即して、グラフから必要な情報を読み取る」問題において成果

・「知識・技能」は全国・県数値をやや下回る結果であったが、上記の2問は全国・県数値を上回る結果であった。求角問題は繰り返し学習をしている成果と言える。問題8(1)は選択式の問題のため、消法で考えた生徒が多かったのではないかと推測される。また、生活場面に即した内容の問題であり、捉えやすかったのではないかと考えられる。

○生活場面に即した内容の問題で成果が出ている。また、手順の単純な問題において、全国数値より正答率が高くなっている。抽象を取り扱う中学校数学での困り感が窺えると同時に、各単元で活用問題として身近な問題を取り上げてきた成果が出ていると思われる。

○「関数の領域」の問題が、正答率が高かった。これはペア学習を活用して、言葉の意味と式、グラフとそが示すものを行き来する活動が行われているからだと考える。

△証明問題の正答率が極めて低いことが大きな課題。また、無回答率も高い傾向にある。定期テストでは意識的に証明問題や説明問題を出題しているが、無回答率が高い。普段の授業からさらに取り組んでいく必要がある。

△「数と式」領域では、小学校段階の計算でつまずいている生徒が多い。繰り上がりの計算や分数の計算を苦手とする生徒も多い。また、小学校段階の四則計算や分数、小数の理解があまりないまま進級している。基礎基本に立ち返った指導が必要である。

△文字式の意味や数量と文字の関係の理解が浅く、公式の暗記に偏ってしまっている。手続き的理解に偏り、概念的理解が乏しい。つまり、計算のやり方は覚えていても、なぜその操作が必要かという「根拠」が理解できていない。丁寧な指導が必要である。

単元ごとの「知識・技能」の習得に重点を置きすぎず、単元や教科を横断した活用や思考を育てる授業を増やしていきたい。また、授業のユニバーサルデザイン化を進めたい。また、自分のつまずきに気付かず、振り返りの習慣が身に付いていない傾向を感じる。メタ認知能力を高め、自らの学習を分析し、改善する力を高めていく必要がある。数学に関する生徒質問では、授業に対して肯定的な答えが多いが、正答率は平均以下。家庭学習が十分でないことが考えられるので、家庭学習に対する指導を強化しなくてはならない。

第37回養父中学校体育大会に向けたお願い

いよいよ明日は体育大会本番です。生徒たちの練習の成果をしっかりとご覧いただければと思います。そして、素晴らしい動きに対しては温かい拍手を送ってやっていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

また、表彰および生徒代表あいさつがありますので、体育大会閉会式が完全に終了するまでは、テント撤収をはじめとした後片付けをご遠慮いただくことも併せてお願いします。

